



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月14日

上場会社名 イメージ情報開発株式会社

上場取引所 東

コード番号 3803 URL <http://www.image-inf.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 代永 拓史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 辻 隆章

TEL 03-5217-7811

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日 未定

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	266	5.4	40		39		34	
2024年3月期中間期	253	10.9	10		9		18	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 34百万円 (%) 2024年3月期中間期 19百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	17.26	
2024年3月期中間期	9.16	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	650		372		56.9	
2024年3月期	627		336		53.6	

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 370百万円 2024年3月期 336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700	32.8	15		15		75		37.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社エンジニアファーム、除外 社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	2,080,000 株	2024年3月期	2,080,000 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	63,759 株	2024年3月期	63,759 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	2,016,241 株	2024年3月期中間期	2,016,241 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結損益及び包括利益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当中間連結会計年度における我が国経済は、30年ぶりの高い賃上げや企業の高い投資意欲など、前向きな動きがみられ、四半世紀の間達成し得なかったデフレからの脱却が到来しています。こうしたなかで、各企業では中長期視点から、デジタル投資への意欲が増している状況となっております。

当社グループの属する業界においては、2010年代後半から活発化していた各企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)関連の投資が継続して増加の傾向にあり、特にソフトウェアの分野において顕著であります。これまでDXが進んでいなかった業種、業界からもDXに対する関心は高く、その導入はより広がるものと見込んでおります。

このような事業環境におきまして、当社グループは、「事業計画及び成長可能性に関する事項」として2025年3月期から2027年3月期を対象とした3か年の中期経営計画を策定し、以下の中期目標を掲げております。

- ・事業規模の拡大と収益性の向上
- ・継続的な成長を実現する事業モデルの確立
- ・企業価値の向上と株主還元

これらの目標達成に向け、下記の各施策に取り組んでおります。

- ・事業規模拡大に向けた資金調達と積極的な事業投資
- ・適切な組織編制とガバナンス
- ・事業推進力の強化
- ・M&A及び企業提携の推進
- ・会社環境の改善

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は266,889千円(前年同期比5.4%増)となりました。利益面におきましては、売上原価が増加したことから、営業損失は40,065千円(前年同期は営業損失10,524千円)、経常損失は39,695千円(前年同期は経常損失9,401千円)となりましたが、受取和解金90,000千円を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は34,817千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失18,471千円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。売上高につきましては、外部顧客への売上高を表示しています。

[ITソリューション]

既存顧客への深耕による受注増および新設子会社の営業開始により増収となりましたが、要員の増加等に伴う原価増を賄うまでに至りませんでした。この結果、売上高は210,871千円(前年同期比4.1%増)、セグメント利益は41,820千円(前年同期比34.2%減)となりました。

[BPO・サービス]

BPO(業務アウトソーシング)及び決済代行等各種サービスにつきましては、新しいサービスとして会員座席継続支援サービス等の新規受注が拡大しましたが、新サービス開始に伴う費用により売上原価が増加しました。その結果、売上高は56,018千円(前年同期比10.3%増)、セグメント利益は4,111千円(前年同期比54.6%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産の残高は650,535千円となり、前連結会計年度末に比べ22,631千円増加いたしました。主な増減は受取和解金90,000千円による現金及び預金の増加33,742千円、前払費用の増加14,987千円です。

(負債)

流動負債の残高は97,131千円となり前連結会計年度末に比べ14,169千円減少しました。これは主に買掛金が632千円減少したためであります。固定負債の残高は180,697千円となり前連結会計年度末に比べ938千円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が1,498千円増加したためであります。

この結果、総負債の残高は277,828千円となり前連結会計年度末に比べ13,232千円減少しました。

(純資産)

純資産の残高は372,707千円となり前連結会計年度末に比べ35,863千円増加しました。これは主に受取和解金90,000千円の計上により、利益剰余金が34,818千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、56.9%（前連結会計年度末53.6%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により47,461千円増加、投資活動により13,178千円減少、財務活動による増減はありませんでした。その結果、当中間連結会計期間末の資金の残高は前連結会計年度末残高より33,742千円増加し、396,902千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動により、資金は47,461千円増加(前年同期30,560千円増加)しました。これは主に、税金等調整前中間純利益が44,304千円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動により、資金は13,178千円減少(前年同期605千円減少)しました。これは主に、貸付による支出10,000千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の増減はありませんでした。

(4) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

連結業績予測は、前回予想(2024年5月12日)から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	363,160	396,902
受取手形、売掛金及び契約資産	87,182	73,807
仕掛品	—	355
貯蔵品	242	245
前払費用	21,853	36,840
預け金	1,229	1,072
短期貸付金	—	10,000
その他	17,493	110
貸倒引当金	—	△5,000
流動資産合計	491,161	514,333
固定資産		
有形固定資産	3,715	3,651
無形固定資産	94,009	93,839
投資その他の資産		
投資有価証券	18,773	17,383
繰延税金資産	2,129	2,657
その他	18,115	18,669
投資その他の資産合計	39,018	38,711
固定資産合計	136,743	136,202
資産合計	627,905	650,535

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,142	16,510
未払法人税等	9,914	11,591
賞与引当金	15,853	20,054
その他	68,390	48,974
流動負債合計	111,300	97,131
固定負債		
退職給付に係る負債	176,716	178,214
繰延税金負債	3,043	2,483
固定負債合計	179,759	180,697
負債合計	291,060	277,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	301,000	301,000
資本剰余金	8,552	8,552
利益剰余金	72,097	106,915
自己株式	△54,005	△54,005
株主資本合計	327,644	362,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,200	7,930
その他の包括利益累計額合計	9,200	7,930
非支配株主持分	—	2,314
純資産合計	336,844	372,707
負債純資産合計	627,905	650,535

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	253,179	266,889
売上原価	180,536	220,958
売上総利益	72,643	45,931
販売費及び一般管理費	83,168	85,996
営業損失(△)	△10,524	△40,065
営業外収益		
受取利息及び配当金	99	203
雑収入	2,954	475
営業外収益合計	3,053	679
営業外費用		
支払利息	299	—
雑損失	1,274	14
創立費償却	—	295
その他	358	—
営業外費用合計	1,931	309
経常損失(△)	△9,401	△39,695
特別利益		
受取和解金	—	90,000
特別利益合計	—	90,000
特別損失		
訴訟関連費用	5,100	6,000
特別損失合計	5,100	6,000
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△14,502	44,304
法人税、住民税及び事業税	4,764	9,699
法人税等調整額	△796	△528
法人税等合計	3,968	9,171
中間純利益又は中間純損失(△)	△18,471	35,132
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△18,471	34,817
非支配株主に帰属する中間純利益	—	314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,285	△1,269
その他の包括利益合計	△1,285	△1,269
中間包括利益	△19,756	33,862
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△19,756	33,548
非支配株主に係る中間包括利益	—	314

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△14,502	44,304
減価償却費	4,684	5,309
その他の償却額	165	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	5,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,165	4,200
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,655	1,497
受取利息及び受取配当金	△99	△203
支払利息	299	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,387	13,375
棚卸資産の増減額(△は増加)	△248	△358
仕入債務の増減額(△は減少)	3,472	△631
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,490	△12,590
その他の流動負債の増減額(△は減少)	4,694	△3,276
小計	7,408	56,626
利息及び配当金の受取額	99	203
利息の支払額	△299	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	23,351	△9,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,560	47,461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,818	△537
無形固定資産の取得による支出	△35,561	△4,187
投資有価証券の取得による支出	△379	△439
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	2,000
貸付けによる支出	—	△10,000
その他	37,154	△554
投資活動によるキャッシュ・フロー	△605	△13,718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△41,670	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41,670	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,715	33,742
現金及び現金同等物の期首残高	454,910	363,160
現金及び現金同等物の中間期末残高	443,195	396,902

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
投資その他の資産	508,295千円	508,295千円

(中間連結損益及び包括利益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
役員報酬	23,901千円	22,167千円
給与手当	18,908千円	15,079千円
諸手数料	9,384千円	9,572千円
退職給付費用	777千円	2,067千円
賞与引当金繰入額	126千円	123千円
貸倒引当金繰入額	－千円	5,000千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	443,195千円	396,902千円
現金及び現金同等物	443,195千円	396,902千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ITソリューション	BPO・サービス	合計
売上高			
外部顧客への売上高	202,430	50,749	253,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	202,430	50,749	253,179
セグメント利益	63,584	9,059	72,643

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	72,643
全社費用(注)	△83,168
中間連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△10,524

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ITソリューション	BPO・サービス	合計
売上高			
外部顧客への売上高	210,871	56,018	266,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	210,871	56,018	266,889
セグメント利益	41,820	4,111	45,931

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	45,931
全社費用(注)	△85,996
中間連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△40,065

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)

株式会社エンジニアファームを新設し、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。